

【問題】

症例：61歳男性.

主訴：発熱.

既往歴：慢性腎不全，2型糖尿病.

家族歴：兄；喉頭癌.

生活歴：喫煙；20～30本/日×30年，飲酒；機会飲酒.

現病歴：7年前にびまん性大細胞B細胞性リンパ腫（stage IIIa）と診断され，R-CHOP 8コースを施行．完全寛解（CR）と診断され，以後外来経過観察となっていた．4カ月前より発熱を自覚．腹部CTで臍頭部に腫瘍影を認めた．また，sIL-2R 683U/mLと上昇を認めた．

入院時現症：体温36.4℃，身長168cm，体重53.5kg．腹部平坦・軟，圧痛なし，リンパ節腫大なし．

血液検査所見：WBC 9200/ μ L（Pro 0%，Myelo 2.0%，Meta 0.5%，Band 3.0%，Seg 86.5%，Eosino 0%，Baso 0%，Mono 2.5%，Lym 5.5%），AST 16U/L，ALT 37U/L， γ -GTP 307U/L，ALP 189U/L，T.Bil 1.2mg/dL，BUN 35.5mg/dL，Cre 1.47mg/dL，Amy 122U/L，CRP 5.16mg/dL，CEA 5.3ng/dL，sIL-2R 907U/mL，Glu 222mg/dL，HbA1c（N）7.6%.

画像診断：腹部単純CT（Figure 1）において臍頭部腹側に42mm大の腫瘍影が認められる．超音波内視鏡（endoscopic ultrasonography；EUS）（Figure 2）では臍頭部腹側に44×32mm大の腫瘍として見えた．辺縁は整で，境界明瞭な類縁形．内部は不均一で，やや高エコーな領域と低エコー領域とに分かれていた．腎障害があり造影CTは施行していない．

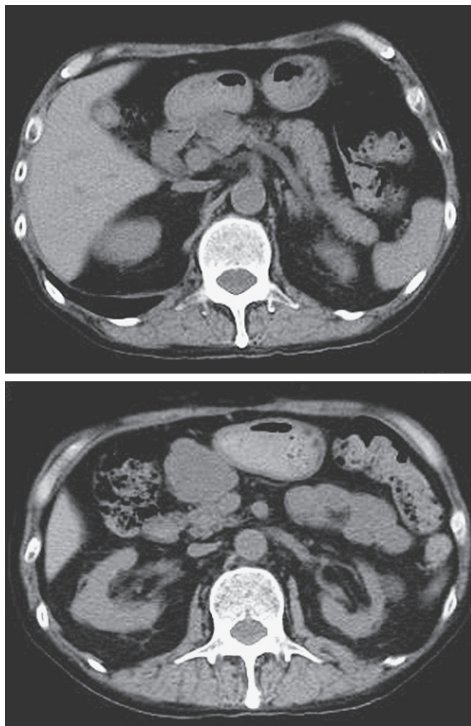


Figure 1. 単純腹部CT.

1. どのような疾患が想定されるか？
2. 必要な検査は？

解答は日本消化器病学会雑誌110巻7号をご覧ください。



Figure 2. EUS.